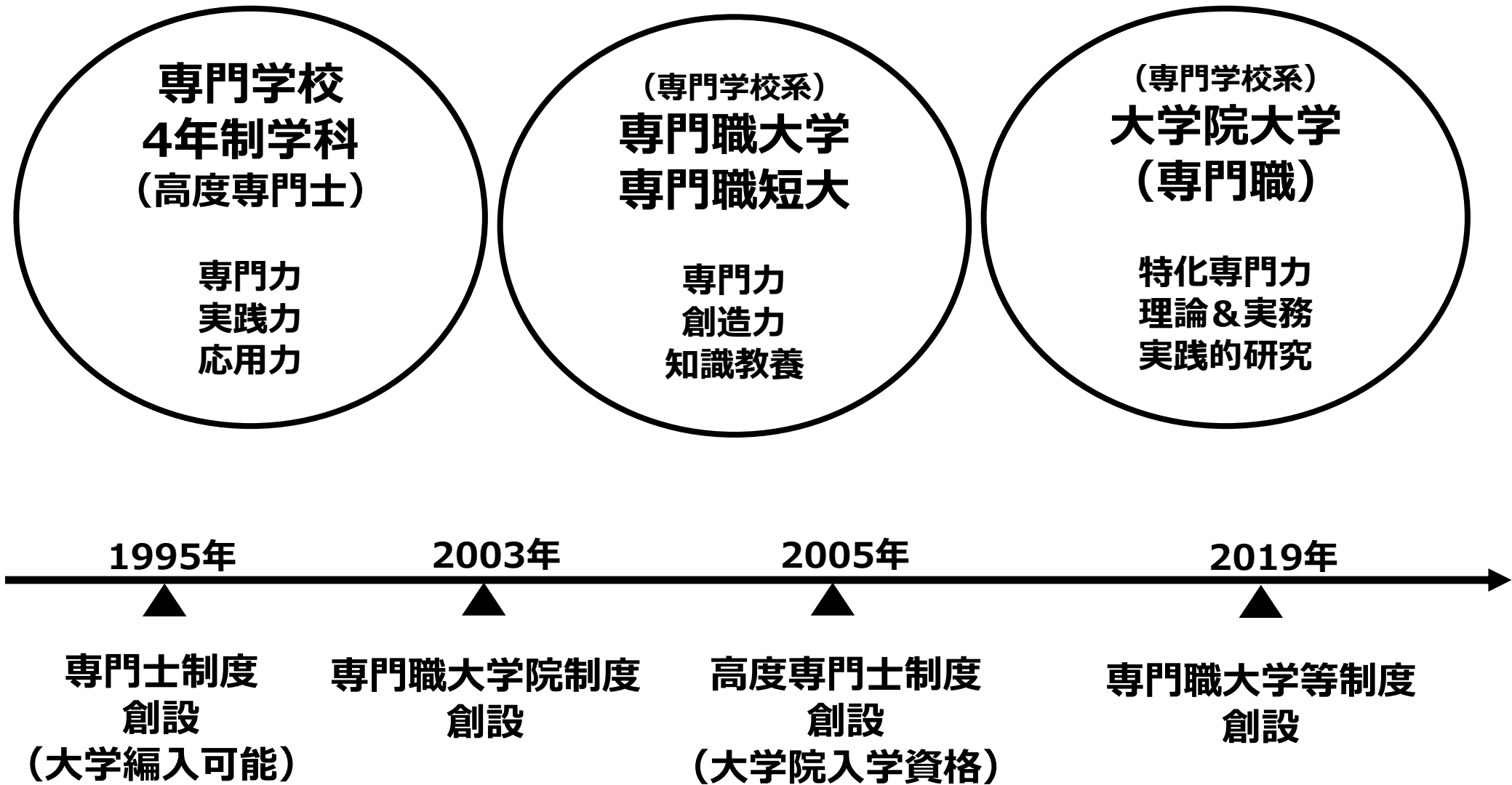


専門学校¹の進化変化

～職業教育の高度化・多様化について～

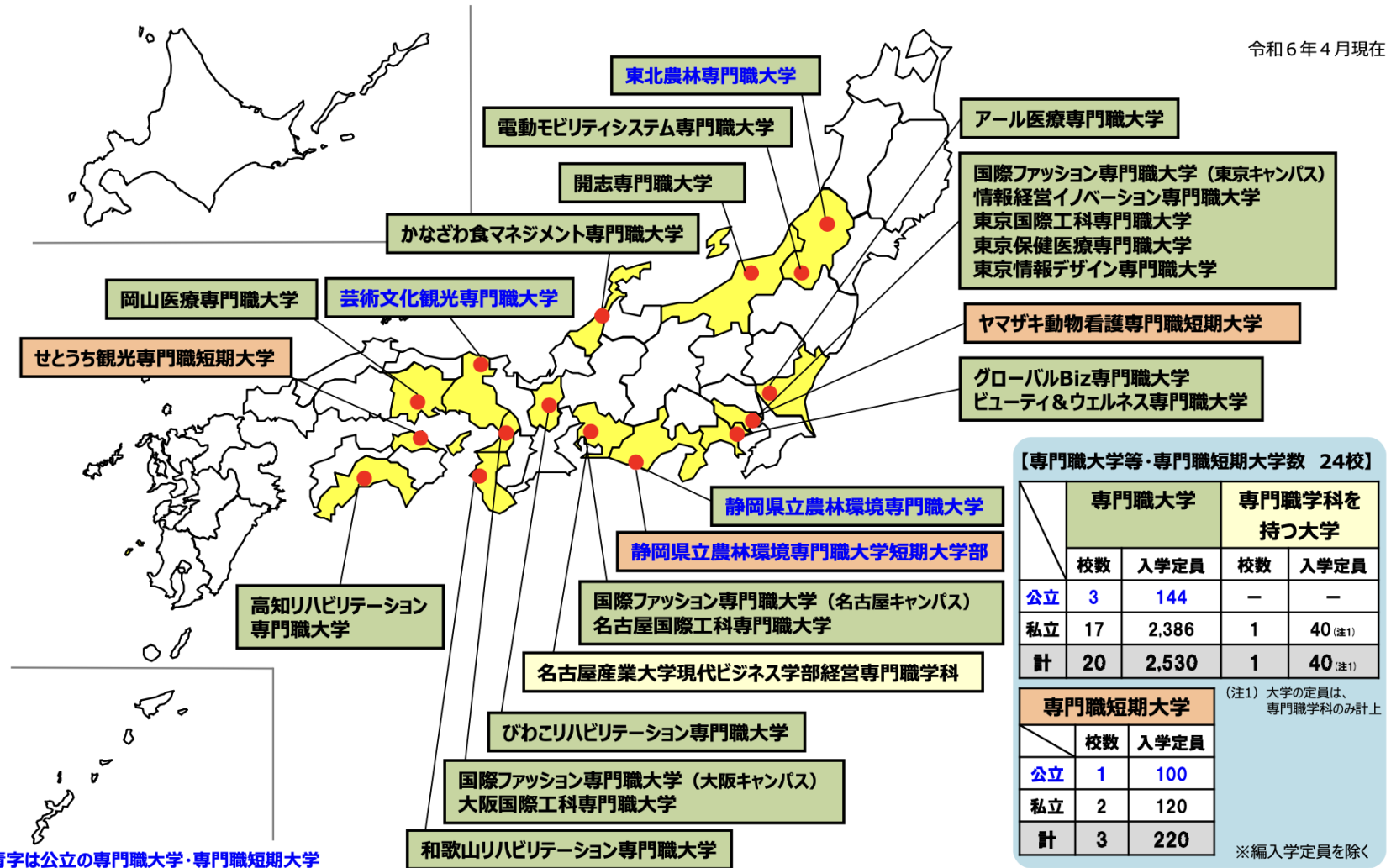
リクルート 進学総研
主任研究員（専修各種学校領域）
三浦勝寛

- ① 職業教育の高度化・多様化について
- ② 専門職大学等について
- ③ 専門職大学院等（専門学校系）について
- ④ 高度専門士（4年制学科）について
- ⑤ ポイント比較「実習」「就職」
- ⑥ 今後の対応と可能性



<ポイント>

- 1 / 3 以上が実技実習、原則40人以下授業、学外実習600時間以上（4年制）、実務家教員4割以上
- 20大学、3短大、1学科 入学定員合計2790名：私立17大学 2短大→専門学校系
- 分野：工学6、農学4、家政1、リハビリ6、社会学2、保健衛生1、経済学5、美術2



【専門職大学等・専門職短期大学数 24校】

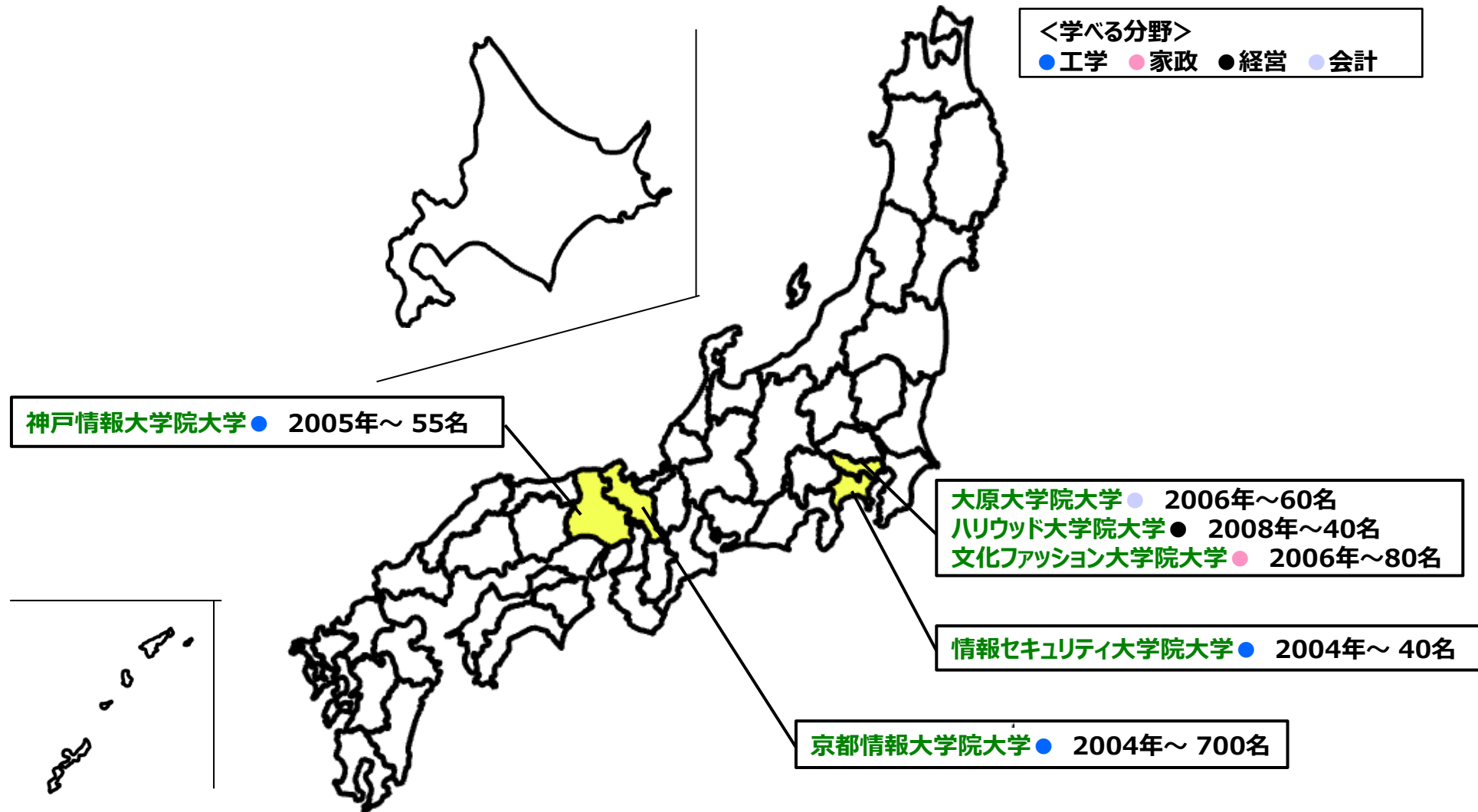
	専門職大学		専門職学科を持つ大学	
	校数	入学定員	校数	入学定員
公立	3	144	—	—
私立	17	2,386	1	40 ^(注1)
計	20	2,530	1	40 ^(注1)

専門職短期大学	
校数	入学定員
公立	1
私立	2
計	3

(注1) 大学の定員は、専門職学科のみ計上
※編入学定員を除く

<ポイント>

- 6 大学院大学・・・東京・横浜・京都・神戸での開学
- IT系、会計系、家政系、ビジネス系、など高度専門的な学び分野



<ポイント>

- 文部科学大臣指定、総授業時間数3400時間以上、体系的教育課程編成、試験等成績評価での修了認定、大学院入学資格
- 18年で、157校221学科の増加、4年制学科≒高度専門士
- 関東・東海・関西圏以外では、北海道、新潟、福岡等に集中傾向

182校280学科

3.2%/69.1%

(2006年度文科省資料)

専門課程の学科数（8706学科）に占める割合：3.2パーセント
 修業年限4年以上の専門課程の学科数（405学科）に占める割合：69.1パーセント

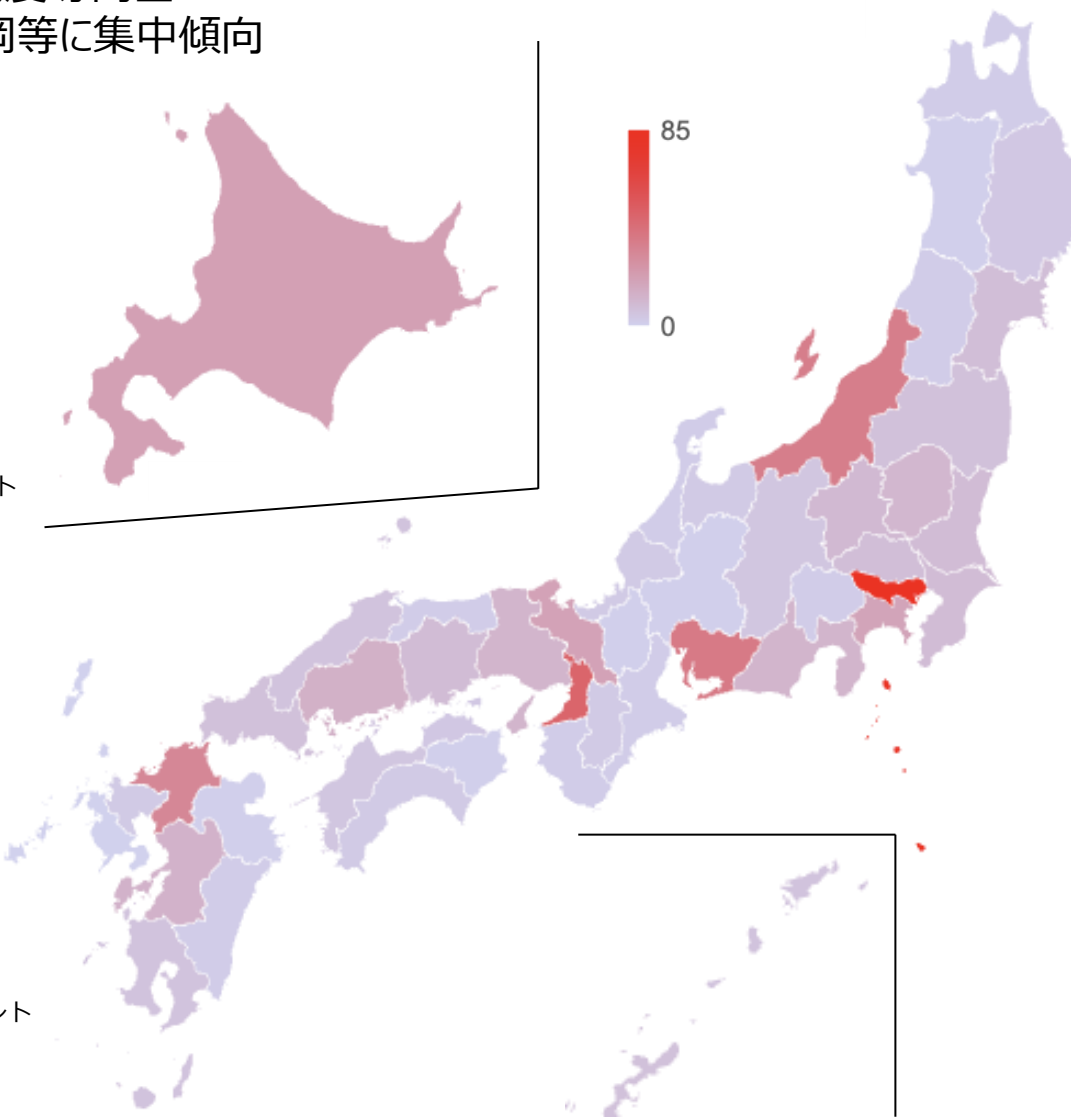


339校501学科

5.8%/86.23%

(2024年3月現在 文科省資料)

専門課程の学科数（8570学科）に占める割合：5.8パーセント
 修業年限4年以上の専門課程の学科数（581学科）に占める割合：86.23パーセント



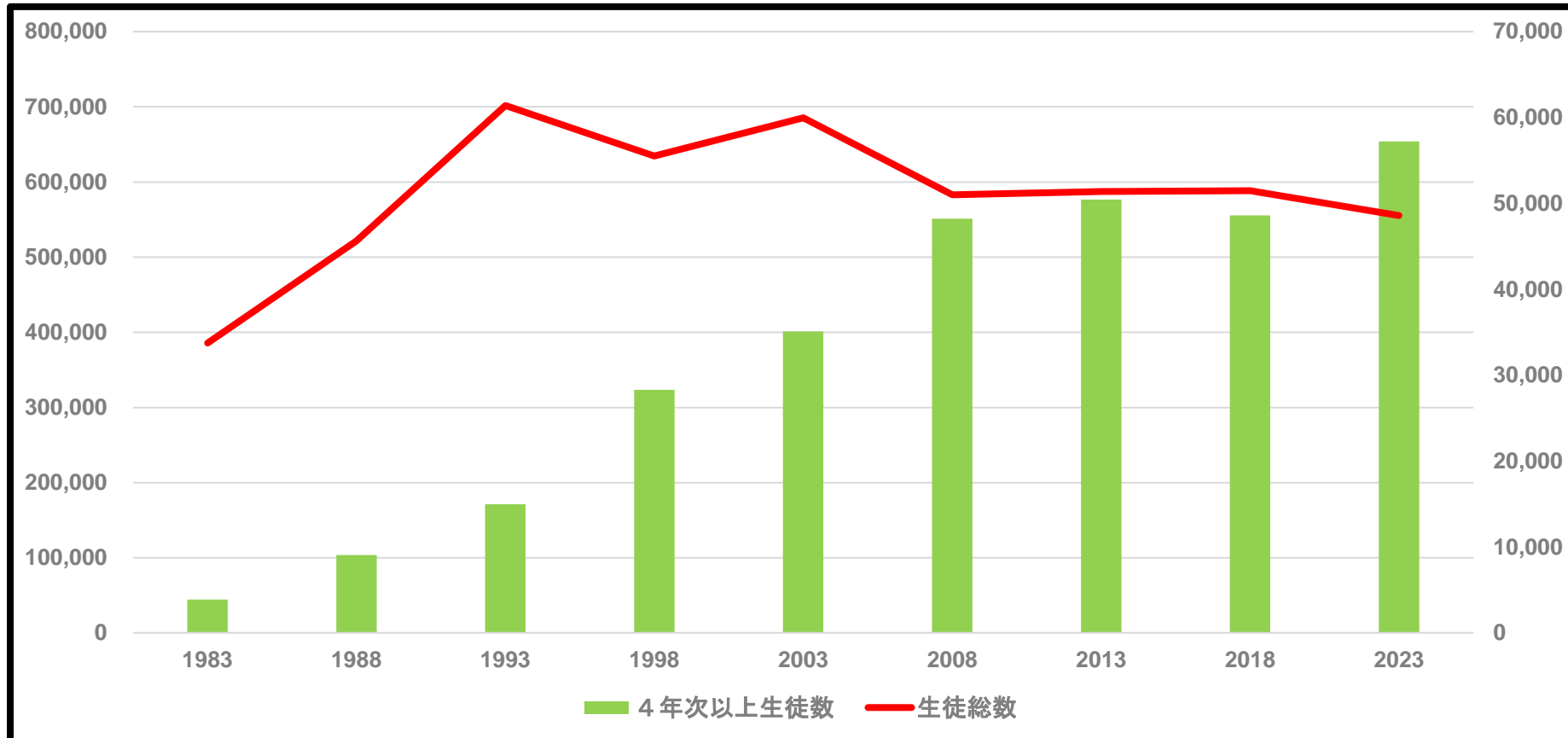
都道府県別
高度専門士学科数

滋賀県	1	北海道	21
京都府	20	青森県	2
大阪府	48	岩手県	4
兵庫県	12	宮城県	8
奈良県	3	秋田県	1
和歌山県	2	山形県	2
鳥取県	2	福島県	7
島根県	6	茨城県	9
岡山県	9	栃木県	11
広島県	14	群馬県	10
山口県	7	埼玉県	8
徳島県	1	千葉県	9
香川県	4	東京都	85
愛媛県	5	神奈川県	19
高知県	3	新潟県	36
福岡県	32	富山県	3
佐賀県	3	石川県	2
長崎県	0	福井県	3
熊本県	13	山梨県	2
大分県	1	長野県	5
宮崎県	2	岐阜県	1
鹿児島県	6	静岡県	12
沖縄県	7	愛知県	38
		三重県	2

令和6年3月現在
文部科学大臣指定課程

<ポイント>

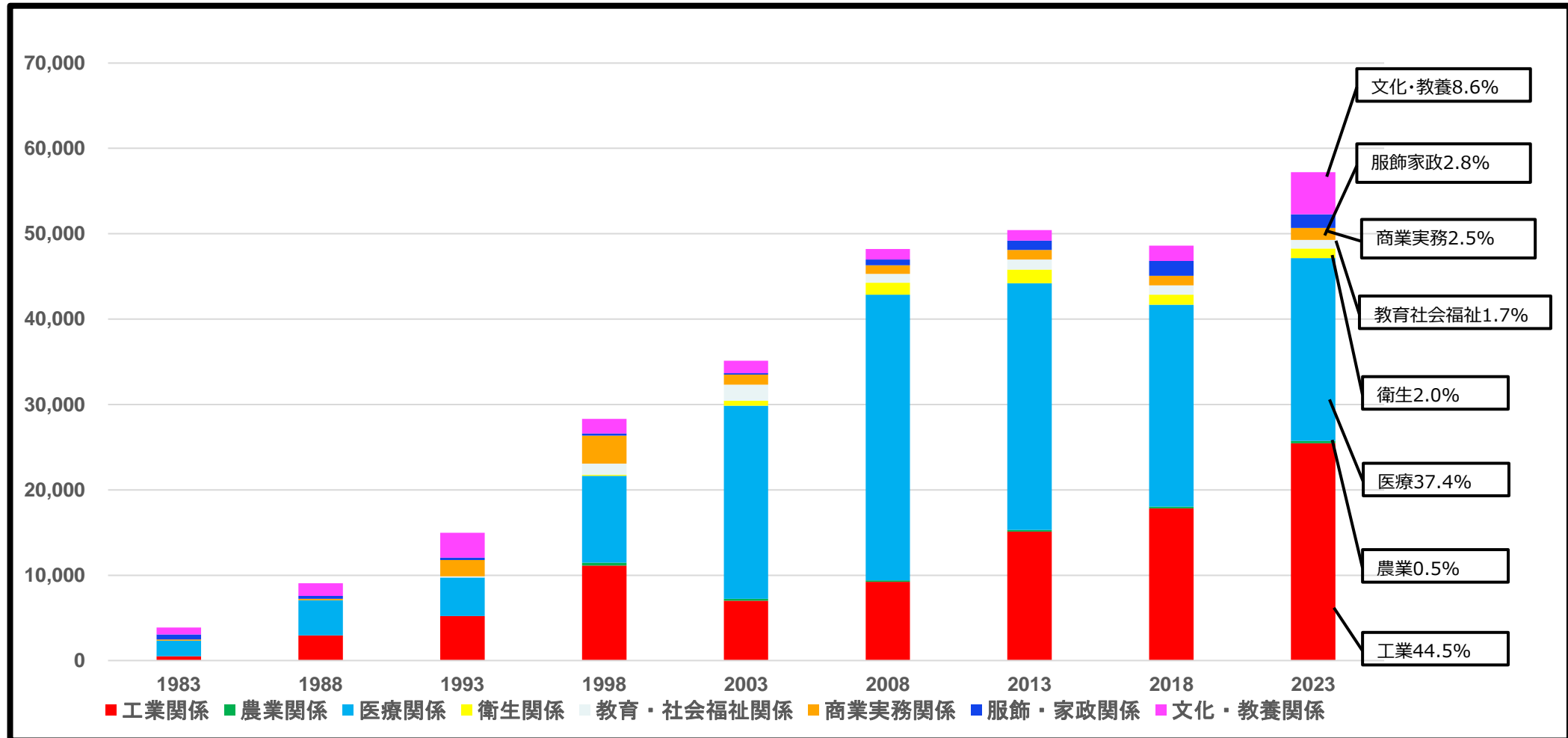
- 専門学校（専門課程）在籍者数（生徒総数）は1993年（701,649人）をピークに減少トレンド（赤折線グラフ）
- いっぽう、4年次以上生徒数およそ15倍（3,887→57,210）、同割合およそ10倍（1.0%→10.3%）に、増加は継続中か



	1983	1988	1993	1998	2003	2008	2013	2018	2023
生徒総数	385,911	521,574	701,649	634,379	685,350	582,864	587,330	588,315	555,342
4年次以上生徒数	3,887	9,059	14,986	28,306	35,115	48,226	50,437	48,602	57,210
割合	1.0%	1.7%	2.1%	4.5%	5.1%	8.3%	8.6%	8.3%	10.3%

<ポイント>

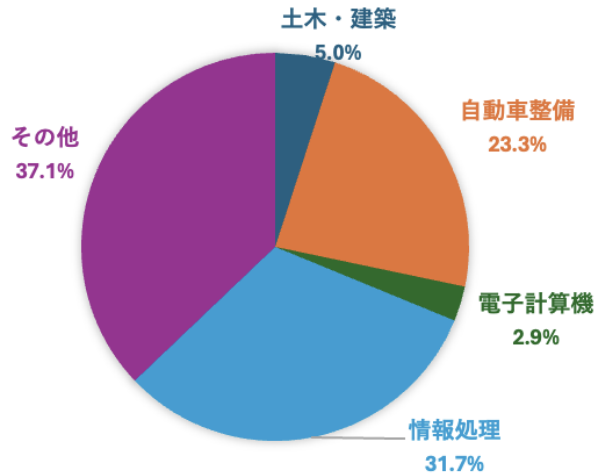
- 高度専門士制度（2005年）創設以降、全体は増加トレンド継続中か
- 圧倒的割合だった医療系が減少：PT・OT系学生数が2008年より約1万人減（人口減×大学改組等の影響？）
- DXによる社会変化と政策等の影響で増加：
- IT・ゲーム・CG・Web、自動車、ファッション、音楽、デザイン、動物、スポーツ等で2008年より約1.3万人増



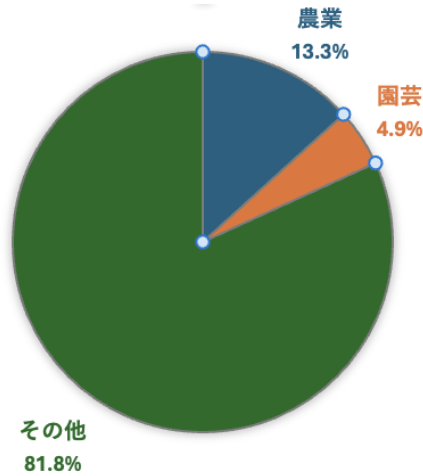
<ポイント>

➤ 1 系統寡占分野と、他系統混在分野に大別され、今後はDXやグローバルでのさらなる複合化と付加価値化が進む？

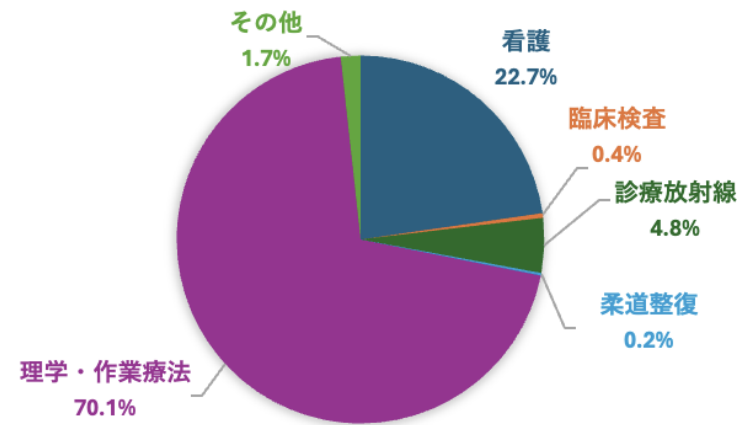
工業関係25452人



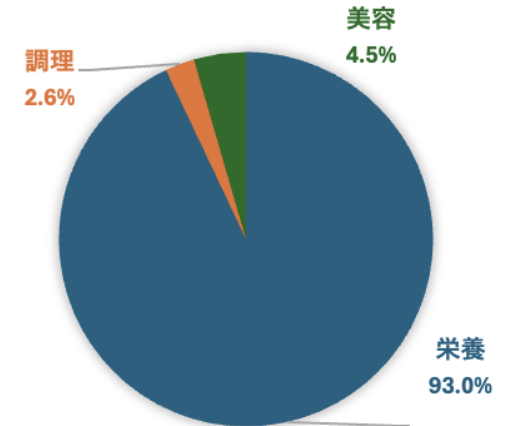
農業関係286人



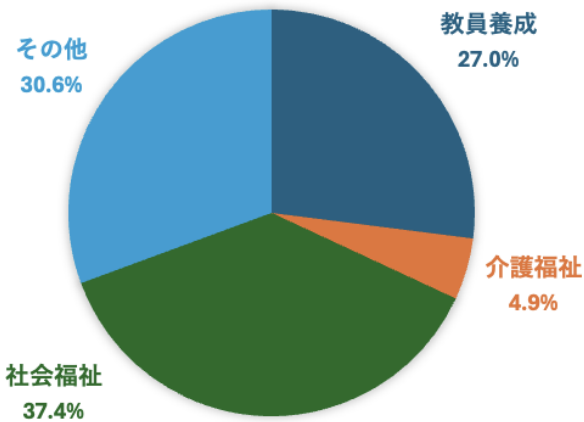
医療関係21399人



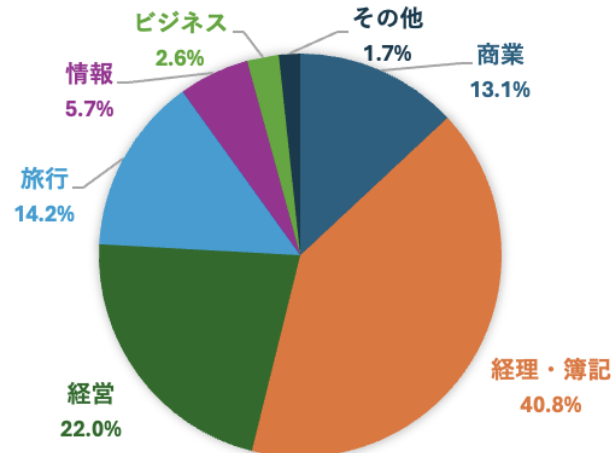
衛生関係1135人



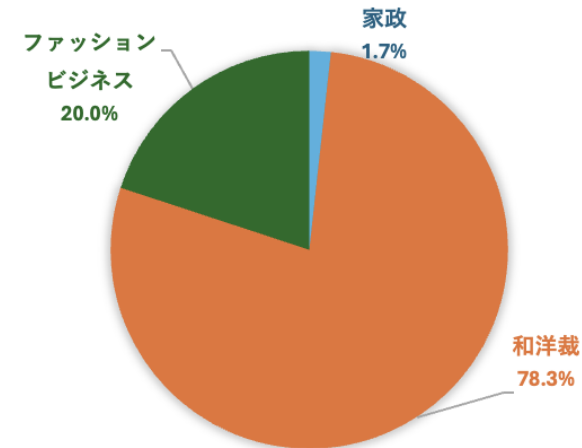
教育・社会福祉関係996人



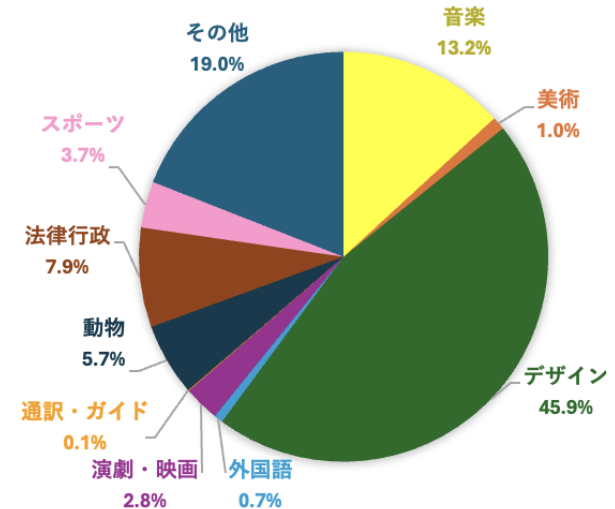
商業実務関係1409人



服飾・家政関係1609人

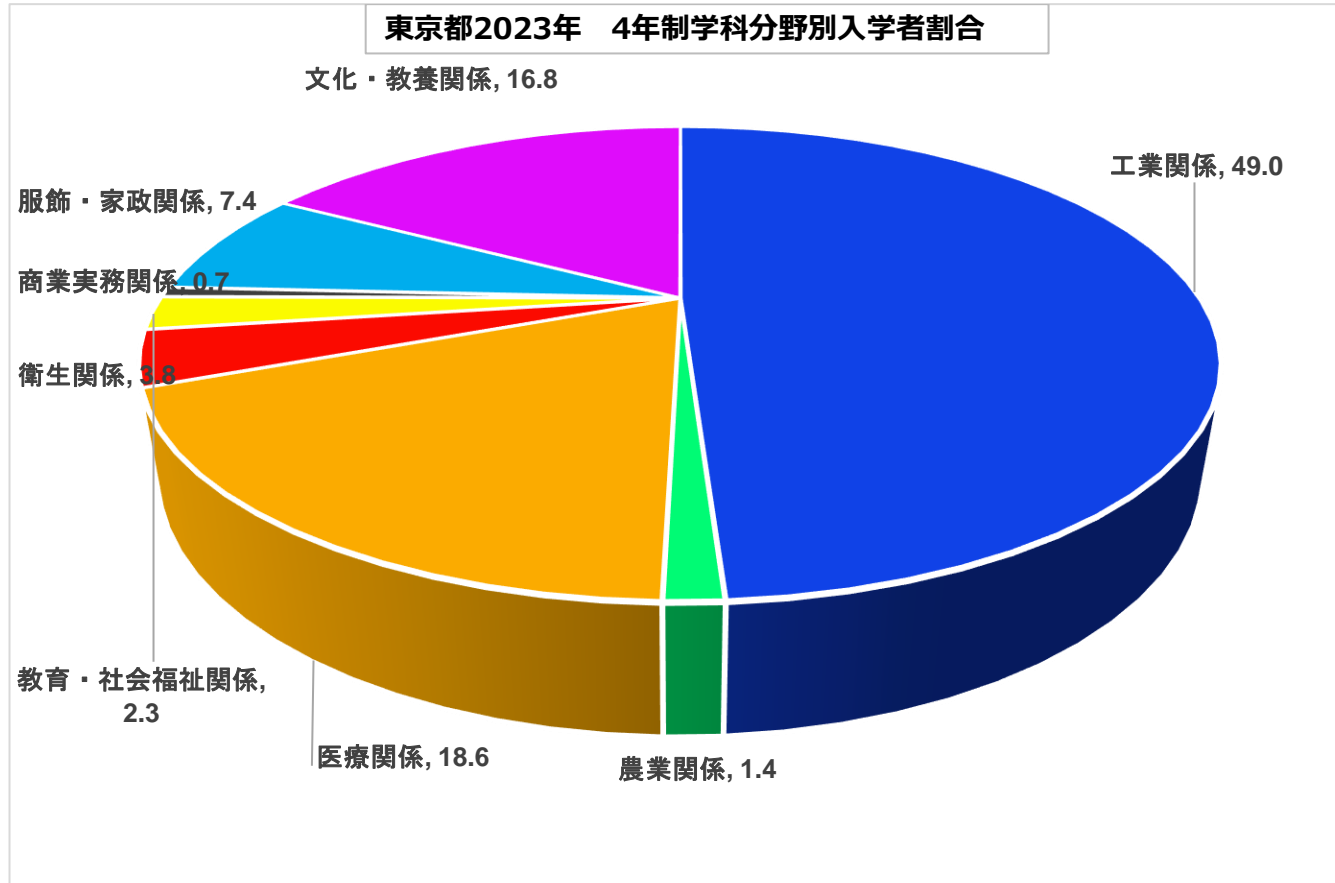


文化・教養関係4924人

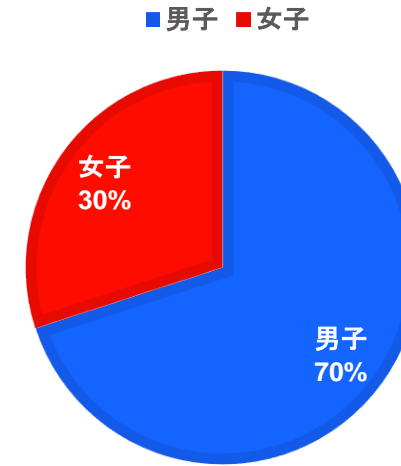


<ポイント>

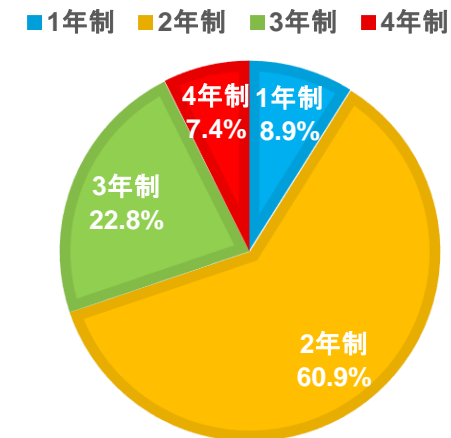
- 工業>医療>文化・教養
- 男：女は7：3



東京都2023年
4年制学科男女別入学者割合



東京都2023年
修業年限別入学者割合



⑤ ポイント比較「実習」

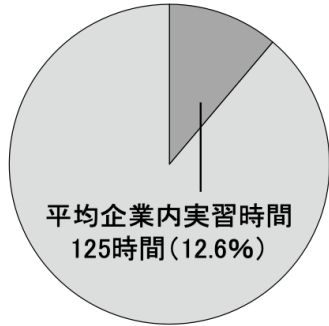
引用：東京都専修学校各種学校協会 令和5年資料

<ポイント>

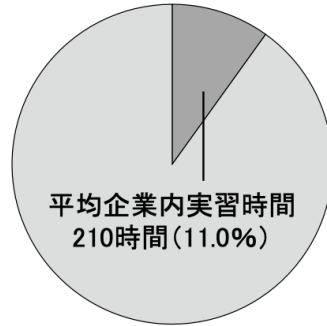
- 4年制専門学校平均実習時間と専門職大学基準はほぼ同じ時間数（医療系は1000時間以上も）
- 3年制専門学校と専門職短大（3年制）では、医療系がある専門学校が50時間以上多い（文部科学省資料『専門職大学制度の誕生と期待』と比較）
- 3年制以上学科では、後半年次以降に実習設定の傾向

6-③ 修業年限別平均実施時間

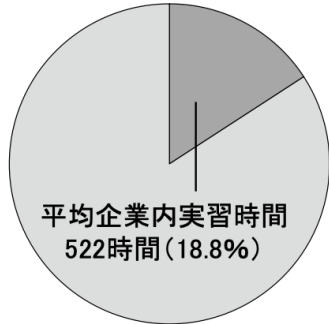
〔1年制〕平均総授業時間数
996時間



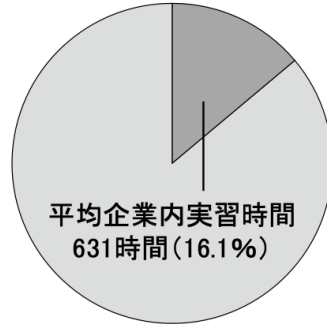
〔2年制〕平均総授業時間数
1906時間



〔3年制〕平均総授業時間数
2773時間



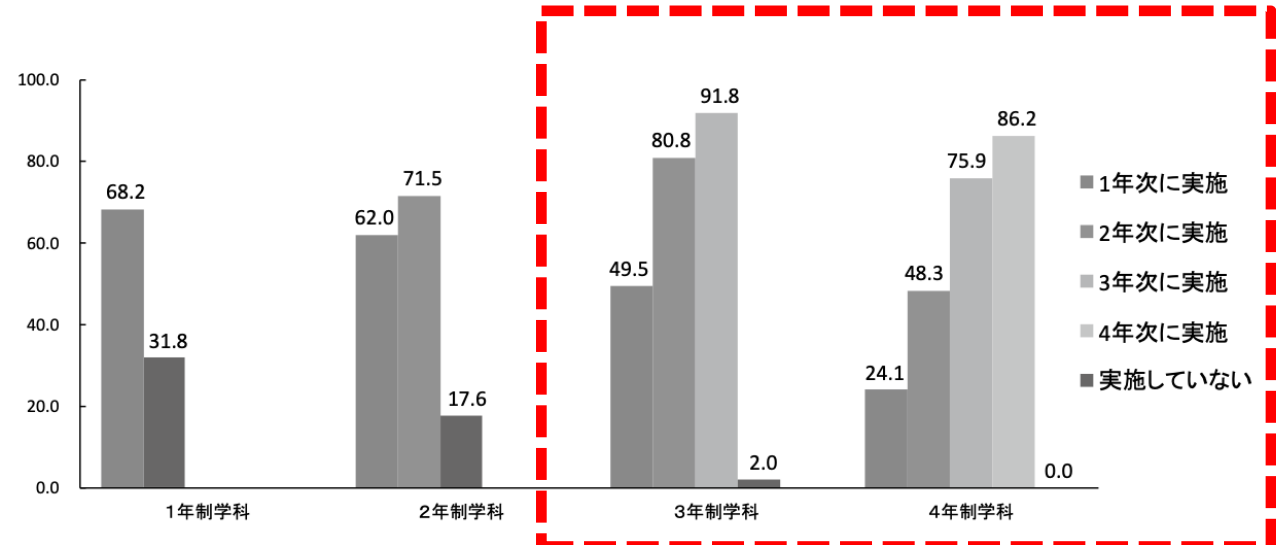
〔4年制〕平均総授業時間数
3914時間



631時間 > 600時間以上

(4年制学科企業内実習時間) (専門職大学設置基準/学外実習時間)

6-② 修業年限別年次毎実施状況

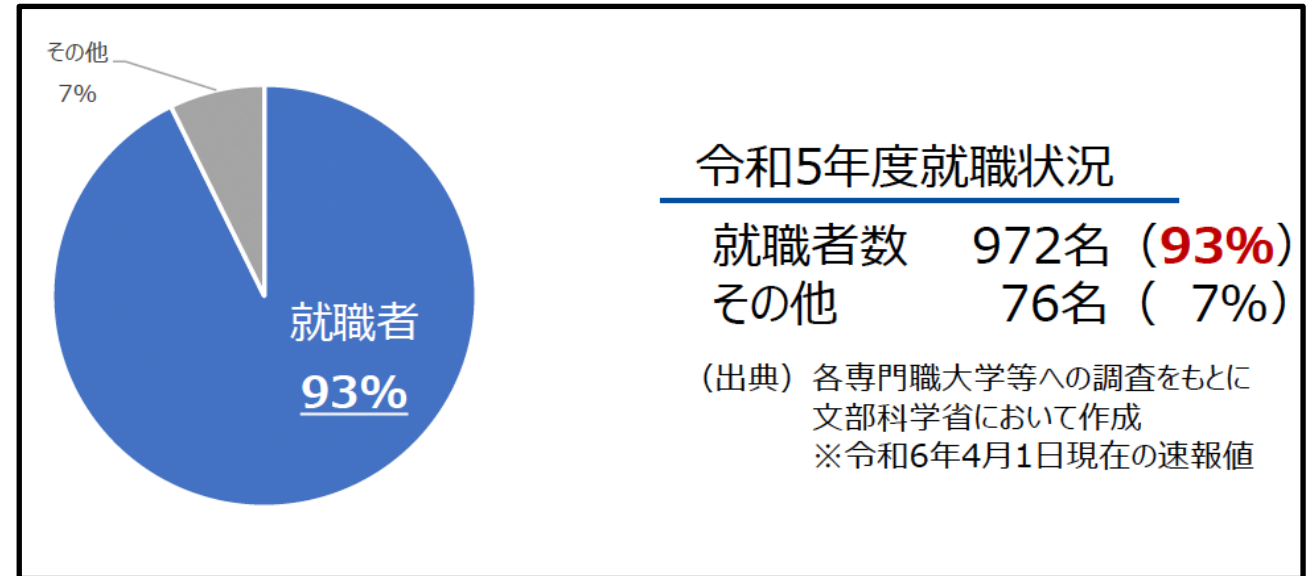


<ポイント>

- 東京都内専門学校で学んだ生徒の関連分野/職種への就職内定率は、4年制学科が97.1%と最も高くなっている
- 完成年度を迎えた専門職大学では、広い視野・志向での就職、総合職での就職等、DPに準じた結果か
- 隣接・関連分野/職種での高度専門職or総合職or進学（留学）等、目的に応じた学校（種）選択の時代へ

	2022年 10月末	2022年 12月末	2023年 2月末	関連分野 職種への 内定率
1年制	47.6%	60.8%	77.5%	94.2%
2年制	57.4%	73.2%	87.6%	94.0%
3年制	42.5%	57.8%	68.5%	96.0%
4年制	70.9%	77.2%	87.4%	97.1%

引用：東京都専修学校各種学校協会 令和5年資料



引用：文部科学省資料「専門職大学制度の誕生と期待」

参考：リクルート進学総研編> 高等教育> 就業力・キャリア教育
<https://souken.shingakunet.com/higher/theme-13/>

○「教育未来創造会議（内閣官房）＜高等教育で培う資質・能力＞」への対応

→予測不可能な時代に必要な**文理の壁を越えた普遍的知識・能力を備えた人材育成**

→デジタル、人工知能、グリーン（脱炭素化等）、農業、観光等

科学技術や地域振興の成長分野をけん引する**高度専門人材の育成**

→**全ての子どもが努力する意思があれば学ぶことができる環境整備**

○DX、グローバル等変化への対応

→専門学校の**機動力と変化力**への期待

→**学び方（デバイス・オンライン等）の進化**と通信教育の可能性

→留学生教育と**海外からの国内人材育成**の可能性

○情報公開での、さらなる価値提供へ

→高度専門人材育成のためのDP、CP等の**アップデート**と

それに関わる、より**詳細な情報提供**での認知向上

→**学校評価**をポジティブ活用することでの価値向上

○一部改正学校教育法への対応

→単位制・・・大学編入、大学（院）との**連携・アライアンス**の可能性

→専攻科・・・「**2 + 2**」等、4年教育多様化の可能性



スタディサプリ

高等教育機関の取り組み事例等はHPに掲載しています。
「リクルート進学総研」

リクルート進学総研

